

MySQL アダプタのご紹介

2021年10月版

対象製品 / サービス

DataSpider Servista

DataSpider Cloud

Copyright © Saison Technology Co., Ltd. All Rights Reserved.

株式会社セゾンテクノロジー

HULFT

目次

■ MySQL アダプタ

- MySQL アダプタとは
- 連携イメージ
- 利用イメージ（課題／解決）
- アダプタ機能一覧
 - ・ テーブル読み取り処理
 - ・ 検索系SQL実行処理
 - ・ テーブル書き込み処理
 - ・ 更新系SQL実行処理
 - ・ ストアドプロシージャ実行処理
- データベースアダプタ共通機能

MySQL アダプタ

DataSpider Servista	DataSpider Cloud
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

…提供あり / …提供なし

MySQL アダプタとは

■ MySQLデータベースと業務システムを連携

データベース・ソフトMySQLと業務システムのデータ連携を実現するアダプタです。

● ポイント

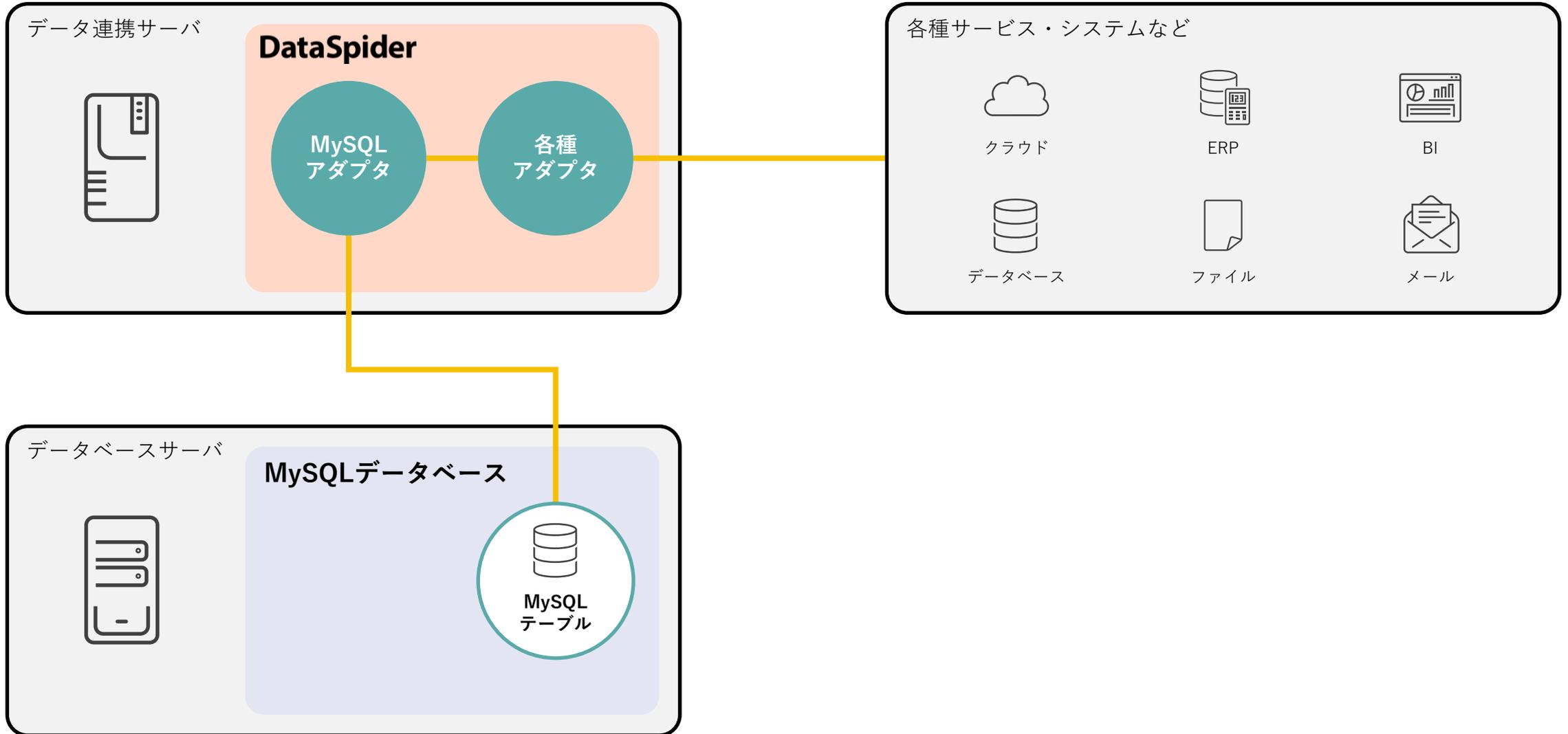
DataSpiderなら、MySQLアダプタを利用して、MySQLデータベースからデータの読み取り・書き込み、条件による抽出などの各種操作が可能です。

- SQLウィザードを利用することにより、GUI操作のみで更新、検索対象や条件の指定等、詳細な設定が可能

※制限事項

- Amazon Auroraへの接続はサポートしていません。
Amazon Auroraへ接続する場合は、Amazon Aurora for MySQLアダプタを使用してください。
- Amazon RDS DBインスタンスへの接続はサポートしていません。
Amazon RDS DBインスタンスへ接続する場合は、Amazon RDS for MySQLアダプタを使用してください。

連携イメージ

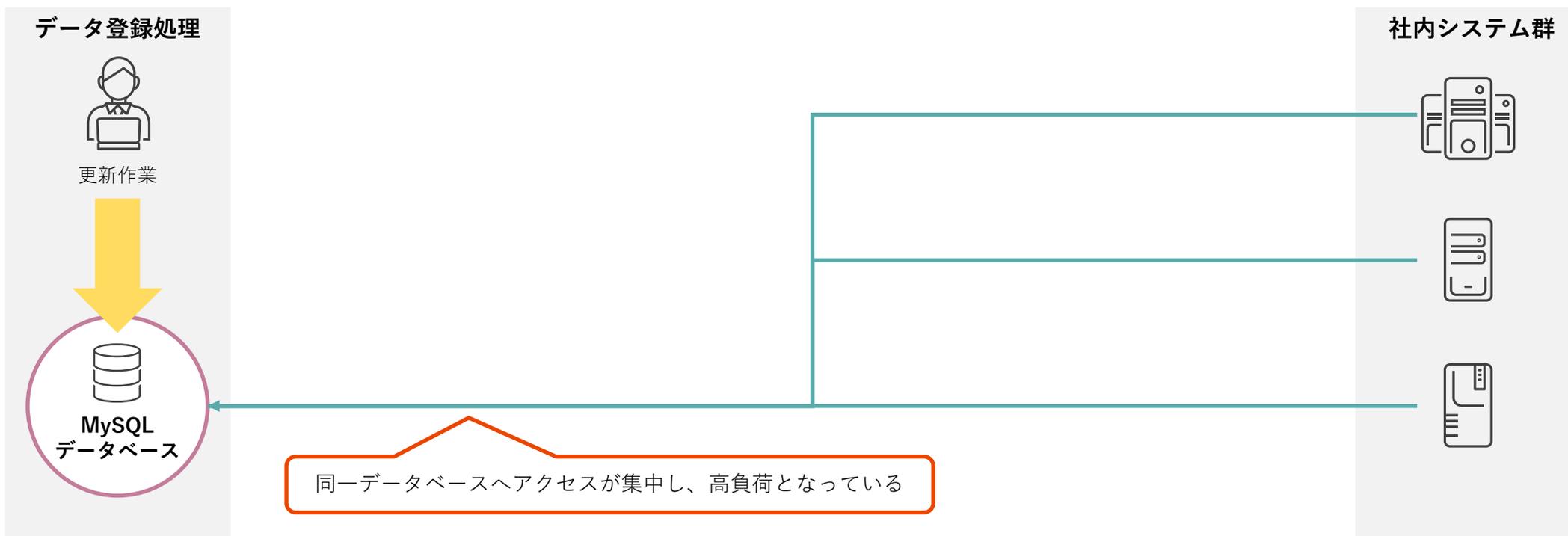


利用イメージ（課題）



従来の運用は極力変更せずに、新たなデータベースと定期的に同期させたい。

日々の業務でMySQLデータベースを更新しているが、他のシステムからの閲覧にも同一のデータベースを使用しており、運用時のシステム負荷が高い。既存の運用にはなるべく手をかけずに負荷分散のため新たに閲覧専用のデータベースを導入したい。

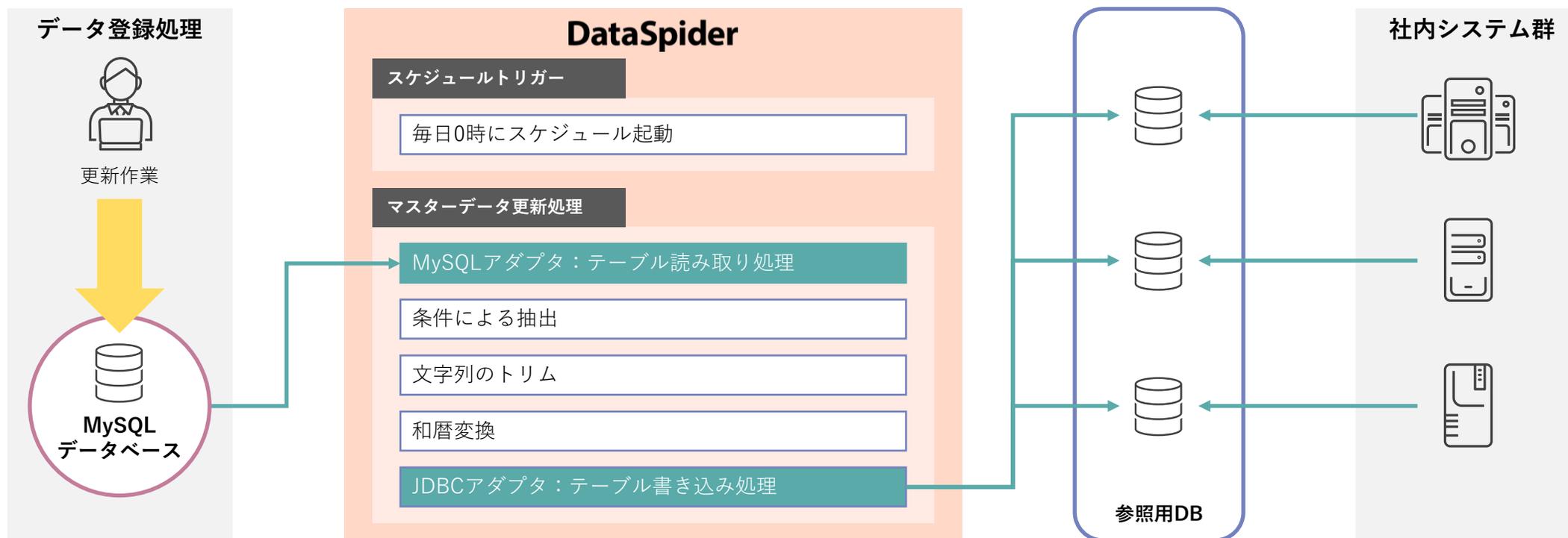


利用イメージ（解決）



MySQLアダプタを利用することで、既存運用を変えずにシステムごとに最適化された参照用データベースを容易に作成することが可能になりました。

既存のMySQLデータベースへの負荷を分散でき、全体のパフォーマンスが向上します。



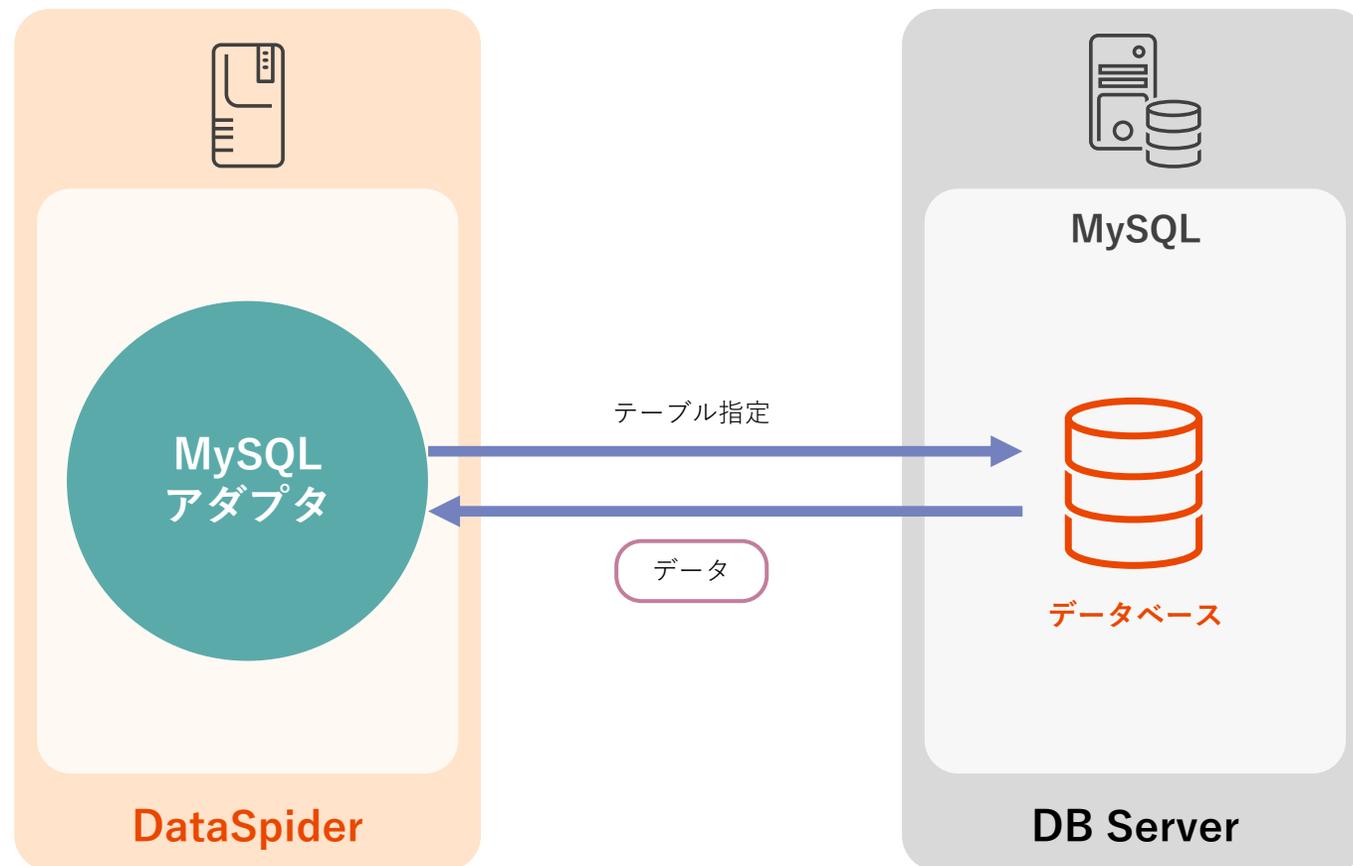
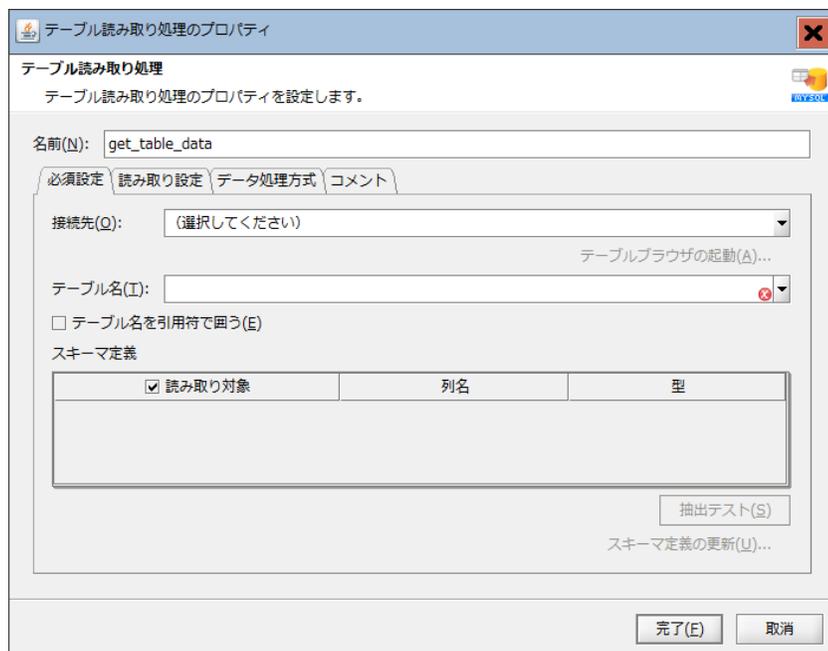
アダプタ機能一覧

○ …提供あり
- …提供なし

種別	名称	概要説明	DataSpide Servista	DataSpider Cloud
処理	テーブル読み取り	テーブルに格納されているデータを読み取ります。	○	○
	検索系SQL実行	SQL文を用いてデータを読み取ります。	○	○
	テーブル書き込み	入力データをテーブルに書き込みます。	○	○
	更新系SQL実行	SQL文を用いてデータを書き込みます。	○	○
	ストアドプロシージャ実行	ストアドプロシージャを実行します。	○	○

テーブル読み取り処理

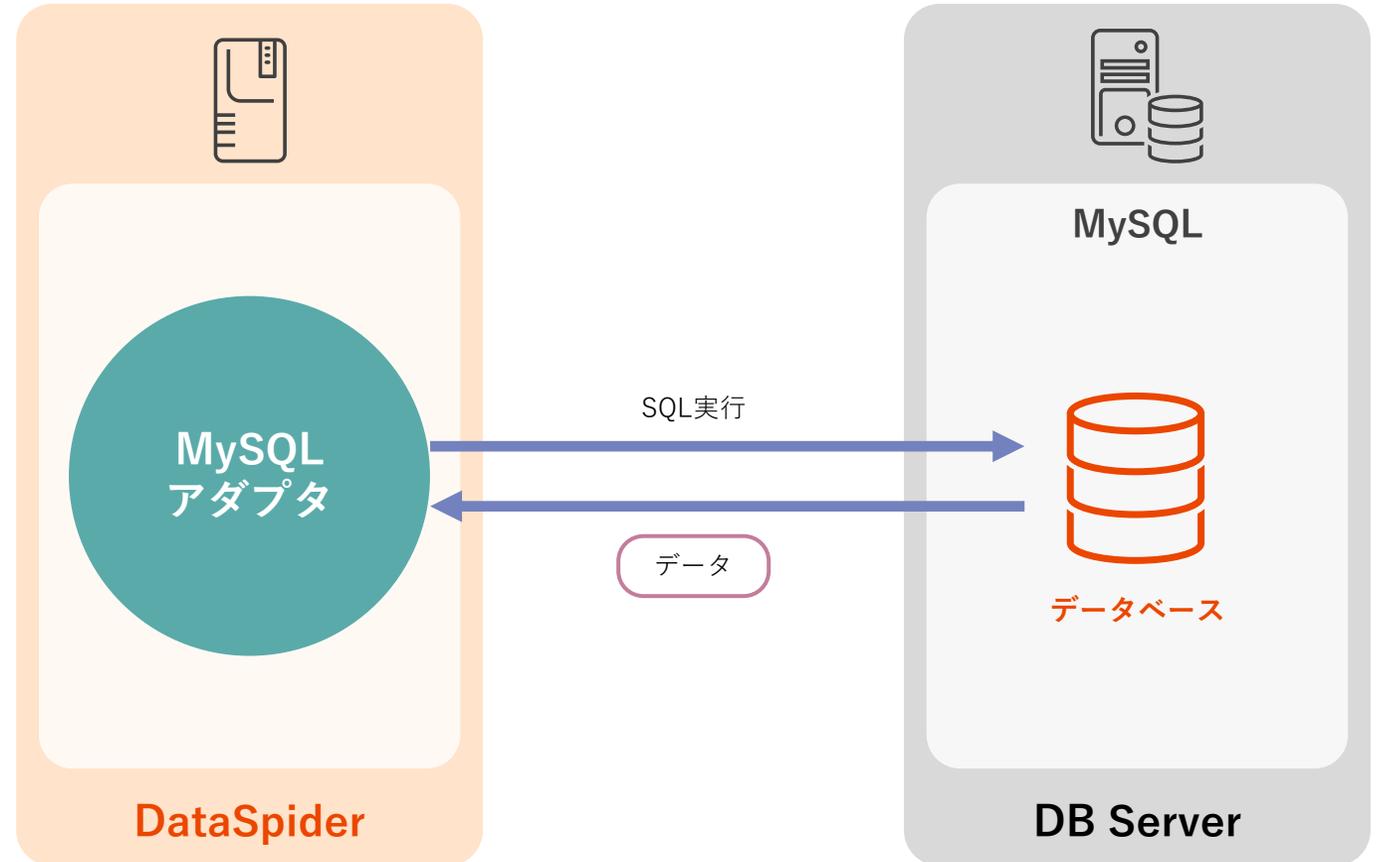
テーブルに格納されているデータを読み取ります。



- グローバルリソースの一覧設定で、テーブル一覧の表示数を制限していない場合や大きな数を指定している場合、データベースのテーブル数によってはプロパティ設定ダイアログを開くのに時間がかかることがあります。

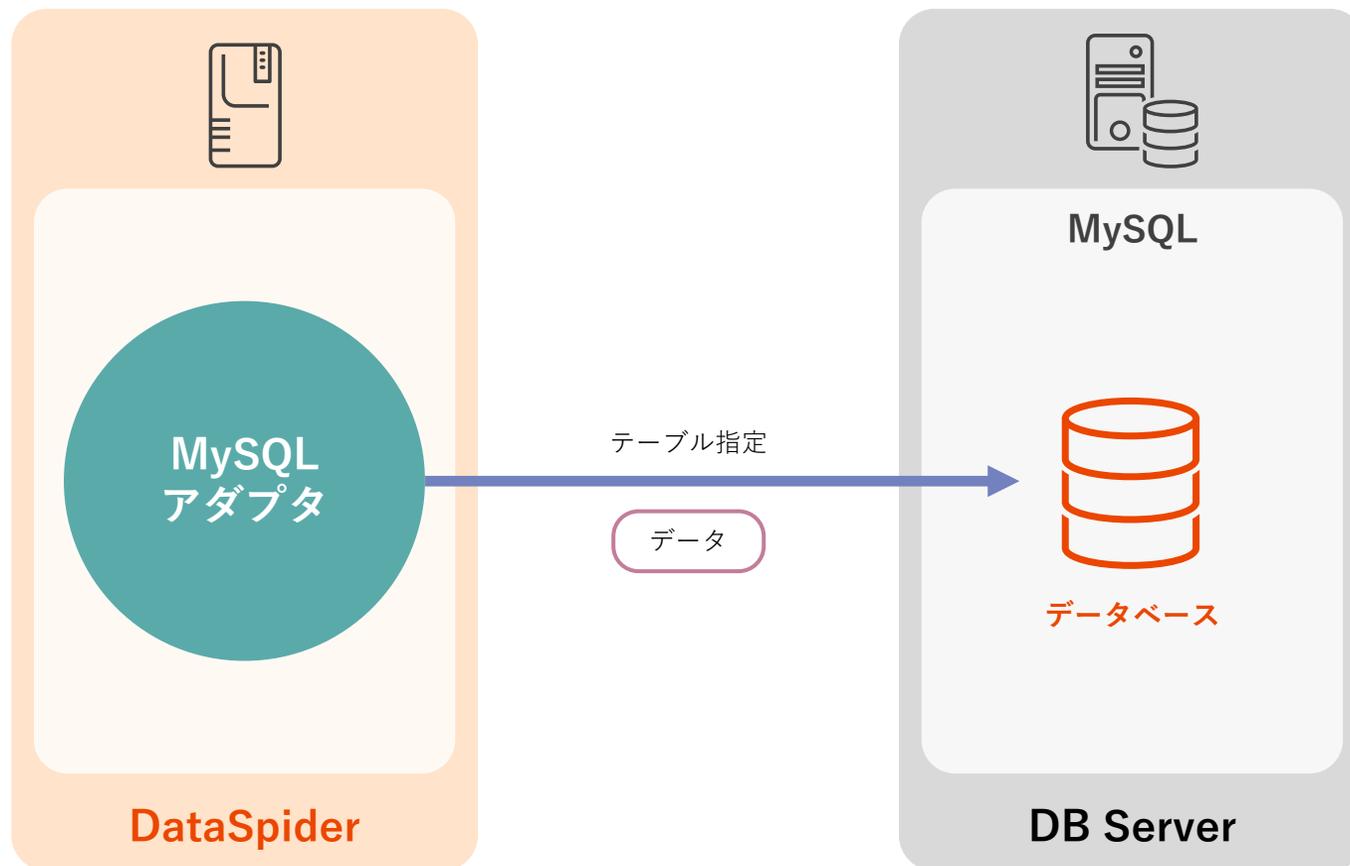
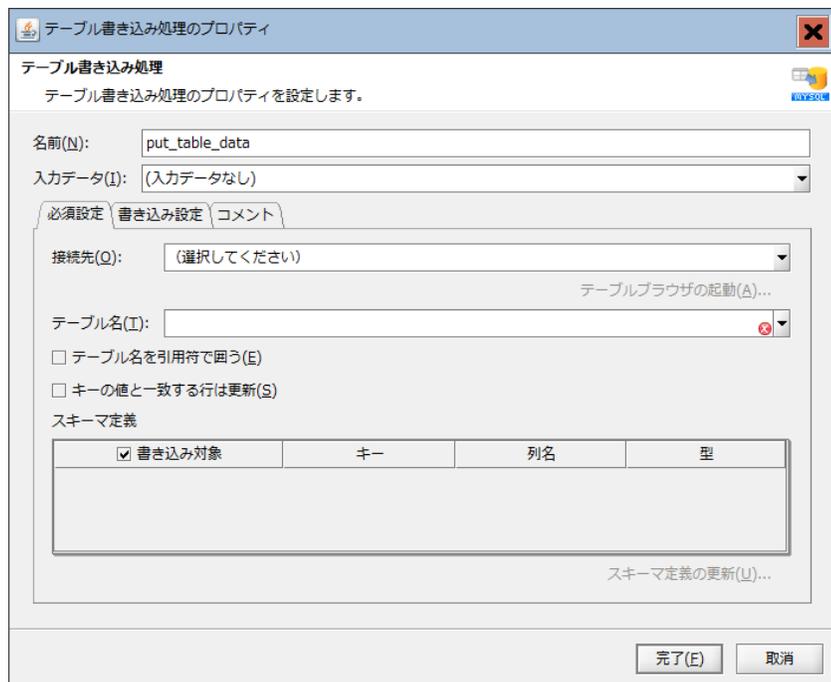
検索系SQL実行処理

SQL文を用いてデータを読み取ります。



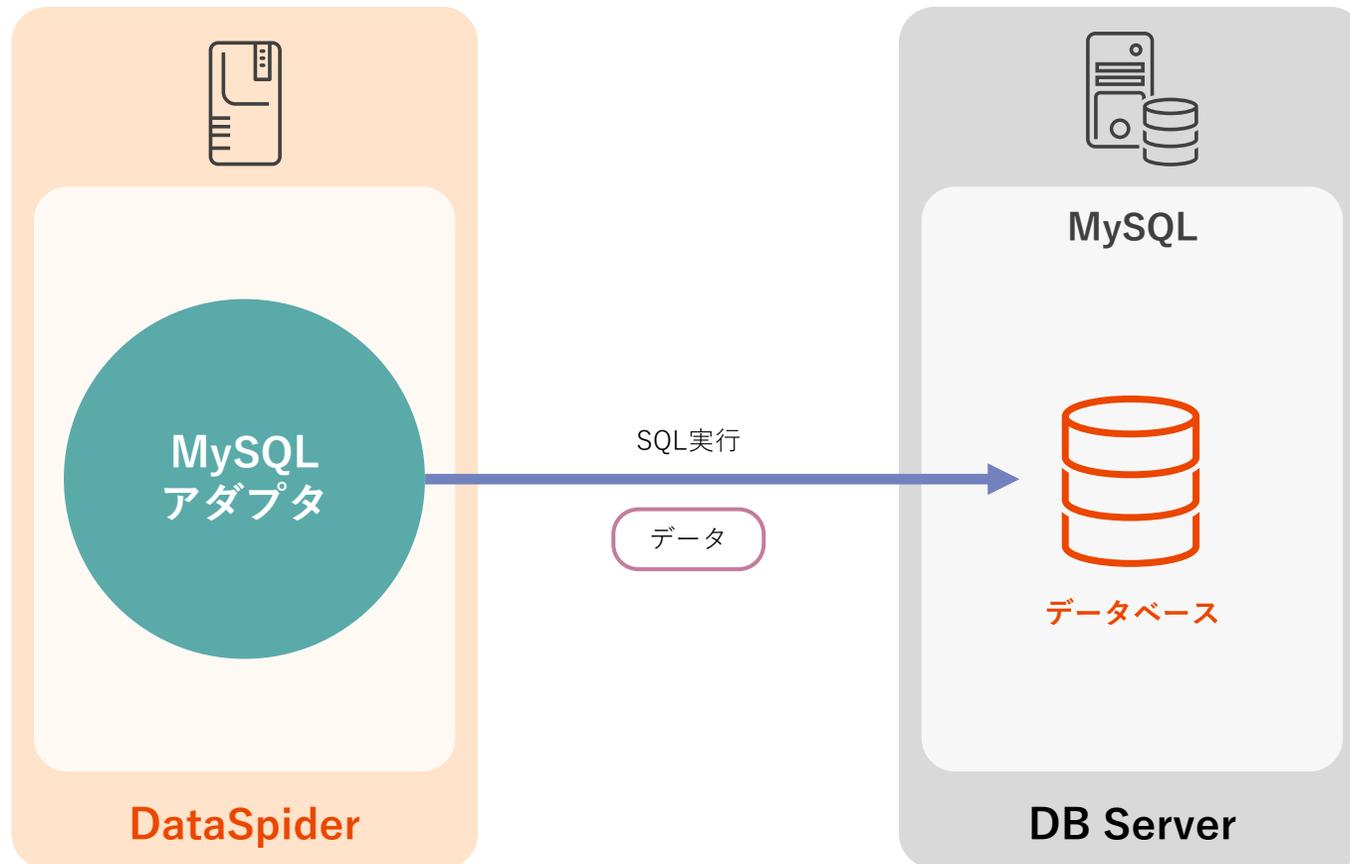
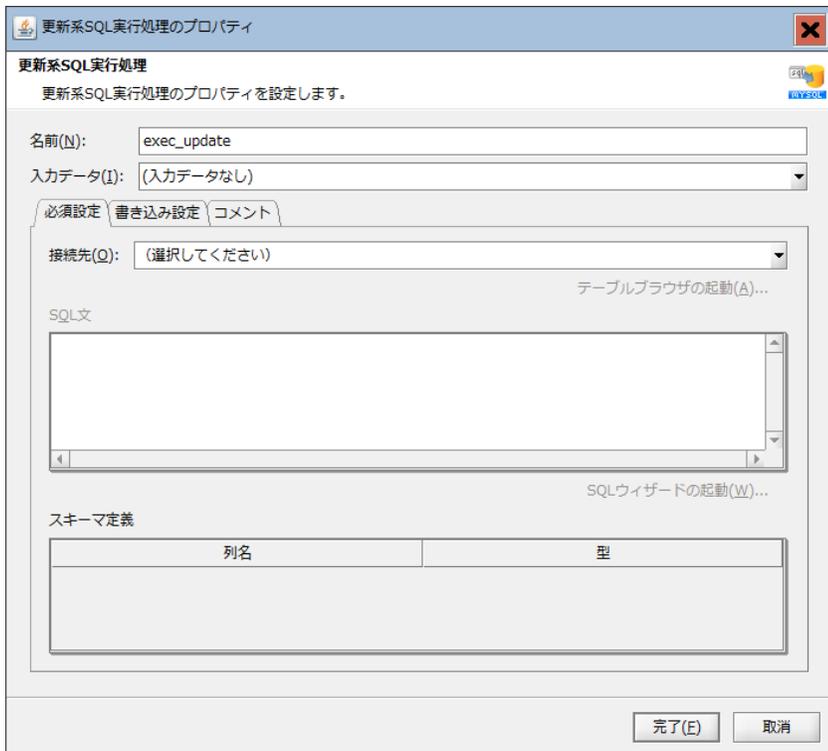
テーブル書き込み処理

入力データをテーブルに書き込みます。



更新系SQL実行処理

SQL文を用いてデータを書き込みます。
※使用可能なSQLは更新対象のデータベースに依存します。



- SQLパラメータ名に「?」を使用することはできません。
- 実行するSQLによっては正常終了後の更新データ件数が正しく取得できない場合があります。(例：テーブル作成)

ストアドプロシージャ実行処理

ストアドプロシージャを実行します。

※指定したストアドプロシージャの入力パラメータが入カスキーマになり、出力パラメータが出力スキーマとなります。

ストアドプロシージャ実行処理のプロパティ

ストアドプロシージャ実行処理
ストアドプロシージャ実行処理のプロパティを設定します。

名前(N): exec_procedure

入力データ(I): (入力データなし)

必須設定 実行設定 データ処理方式 コメント

接続先(Q): (選択してください) テーブルブラウザの起動(A)...

プロシージャ(E):

入力

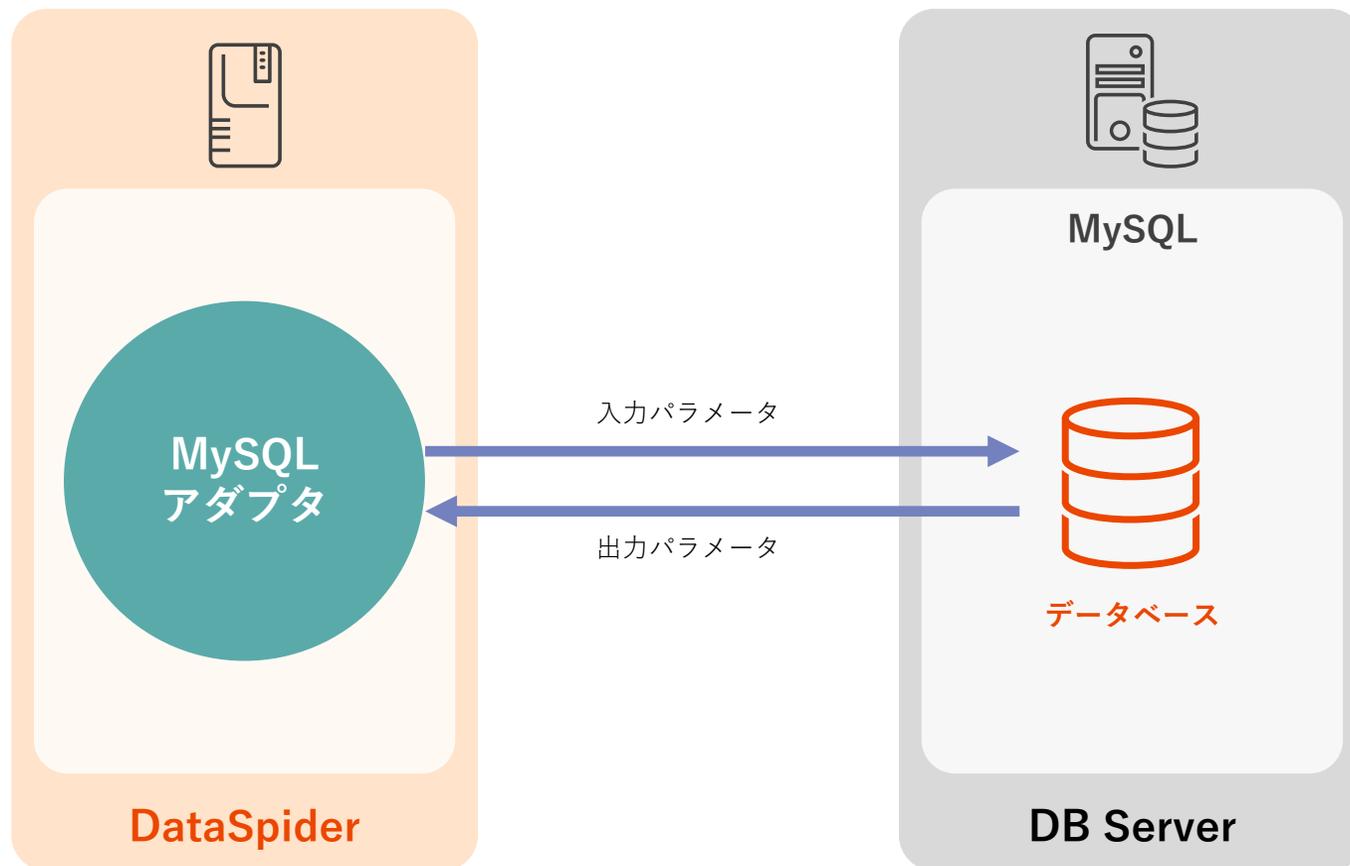
パラメータ名	型
--------	---

出力

パラメータ名	型
--------	---

パラメータの更新(U)...

完了(E) 取消



データベースアダプタ共通機能

データベースアダプタ各種には以下の共通機能が含まれます

- テーブルブラウザ
- SQLウィザード(検索系)
- SQLウィザード(更新系)

詳細につきましては下記をご参照ください。



アダプタ 紹介資料：JDBC
- データベースアダプタ共通機能



HULFT

Move knowledge. Move markets.